地の囁きの音に伏せばたなりょうらん。ゆるとなりようらん。ゆめいよいないがあります。 草湫々の声すなりくさしゅうしゅうこえ

辛夷の花の香に迷う 夜光流るる芝草ややこうなが

遠き憧れ逝にし日よ

森に 桂 の火は燃えぬ影にあくがれ彷徨えば 窓辺に招く幻の

> 去り行く青春を惜しむかな 裸形の友は肩組みて 今にまくれない の篝火よ

銀漢の下希望なる。またのでありぬ春の宵がかん。もとのでみない。

支笏の湖に星は飛ぶ